

## 第8節 特殊教育

### 1 盲学校・ろう学校の教育

#### (1) 皇太子殿下、同妃殿下のご視察

皇太子殿下、同妃殿下には、昭和36年5月31日（午後3,35～4,05）、福島盲学校、同ろう学校をご視察になった。昨年度の天皇、皇后両陛下のご視察に引き続き、たび重なるご視察で、光栄のいたりである。

当日、教育長から、次のとおり概況をご説明申し上げた。

県立福島盲学校、同ろう学校の概況について

わたくしは、福島県教育委員会教育長の佐藤光でございます。県立福島盲学校、同ろう学校の概況をご説明申し上げたいと存じます。

本校は明治31年に創立され、はじめ盲教育が行なわれておりましたが、その後昭和4年からろう教育をあわせ行なうことになり、今年で62年になります。

本校舎は、以前福島市内渡利地区にありましたが、昭和31年、不幸火災にあい全焼いたしましたので、復旧にあたり、この地に移転して、不燃性の近代的な校舎の建築を計画いたし、昭和33年に盲学校校舎、34年にろう学校校舎の建築が完了したしいてございます。

両校には、それぞれ小学部、中学部、高等部、が設置され、両校合わせて職員53名児童生徒220名が在籍しております。両校の卒業生は、上級学校に進学するもののほかは、あんま、はり、きゅう師を開業し、または木工所、洋服店等に就職するなど、自活のみちをたてております。

また寄宿舎につきましては、校舎の建築に引続いて工事を進め、昨年8月、鉄筋2階建ての舎屋が落成し、現在60名の児童生徒を収容し、家庭にかわる生活指導を行なっております。

なお本県には、本校のほか盲学校3校、ろう学校3校が設置されておまして、700名に近い児童生徒が在学し、就学率も年々向上をみております。県といたしましては、数年来特殊教育の振興に特に努力してまいりましたが、今後いっそうの充実をはかりたい念願でございます。」

#### (2) 東北ろう学校研究大会

- ① 目的 東北地区におけるろう教育の振興改善をはかる。
- ② 主催 東北ろう学校研究会  
福島県教育委員会
- ③ 期日 昭和36年6月16日（金） 17日（土）
- ④ 会場 県立平ろう学校
- ⑤ 参加者 東北6県 各ろう学校長・教員等(150人)
- ⑥ 講師 東北大学教授 堀江貞尚（以下略）

#### (3) 東北盲教育研究大会

- ① 目的 東北地区における盲教育の振興改善をはかる。
- ② 主催 東北盲教育研究会
- ③ 期日 昭和36年10月24日（火） 25日（水）
- ④ 会場 県立郡山盲学校
- ⑤ 参加者 東北各県 盲学校長・教員等(100人)
- ⑥ 講師 文部省事務官 大川原潔（以下略）

#### (4) 郡山盲学校・同ろう学校の校舎落成

- ① 位置 郡山市大槻町字中の平132
- ② 落成・移転・昭和36年10月

#### (5) 会津盲学校、同ろう学校の校舎、寄宿舎の改築

- ① 位置 会津若松市一箕町
- ② 整地着工 昭和36年11月
- ③ 建築着工 昭和37年1月
- ④ 落成見込 昭和37年8月

### 2 養護学校の教育

し体不自由児を対象とする県立養護学校は、昭和35年11月1日から設置（平市）されたが、さらに本年度は、平市の校舎を分校とし、新たに郡山市に本校を新設し、昭和37年4月から授業を開始する計画で準備を進めてきた。

#### (1) 「本校」校舎・寄宿舎の建築

- 位置 郡山市富田上赤沼
- 敷地面積 9,700坪（隣設されるし体不自由児施設—厚生部所管一の敷地をふくむ）
- 敷地の整地作業  
陸上自衛隊の絶大な協力をうけ、昭和36年11月昭和37年3月に実施した。
- 着工 昭和37年3月

#### (2) 入学志願者の募集

下記のような入学案内を作成し、昭和36年12月に、各市町村教育委員会、各小中学校等に配布し、広報と関係保護者の出願勧奨に努めた。昭和37年3月15日現在における志願書受付数は、130点におよんでいる。

## 養護学校入学案内

～し体不自由児の

保護者のみなさまへ～

昭和37年1月

福島県教育委員会